

「お金」を面白いほど引き寄せる黄金ルール

32. 他人への「祝福の言葉」は100%自分に返ってくる！

嫉妬はあなたの潜在意識にマイナスに作用します。嫉妬する代わりに祝福すれば、あなたも確実に繁栄します。

最近は大実力主義、成果主義が増えてきたので、同じキャリアでも成績によって昇進や給料が違ってくことも珍しくありません。でも後輩に抜かれてしまったようなとき、大半の人は心穏やかでいるのは難しいと思います。まして相手に勝ち誇ったような態度をとられたら……嫌みの一つも言ってやりたくなることでしょう。

でも、そういうとき、口先だけでなく心の底から「よかったわね。おめでとう」と言える人間になるように努力することです。これは、なにも他人のためではありません。100%自分のためになるからです。そのことは潜在意識の働きを知ればよくわかります。マーフィー博士は「嫉妬はあなたの潜在意識が正しく機能するのを妨害する」と言っています。それは潜在意識の持つ「無選択性」に原因があります。つまり潜在意識というのは、たとえば「よかったわね」という言葉を何度も使えば、それが他人に向けたものであっても自分のこととして受け止めるのです。同じように「だめだわ」「もうおしまいだわ」といった否定的な言葉も、それが他人に向けられたものであったとしても、自分もその影響を受けるのです。だから、いつも肯定的な言葉づかいをすることが大切なのです。このような潜在意識の働きを知れば「他人の繁栄を祝福する」ことが、自分を祝福することにつながっていることに気づかれるはずです。また、他人を祝福してあげれば、他人とよい関係が築けます。そのことからチャンスが生まれてきます。

では、嫉妬にかられてしまったらどうなるのでしょうか。嫉妬を感じたときの心の状態は決してよいものではありません。

そのよくない感情から出てくる言葉や想念が、つねにあなた自身にささやきかけるのですから、よい影響は期待できない。他人も決してよい感情抱いてくれませんから、結局、嫉妬心を抱いたほうが一方的に損をすることになってしまうのです。

嫉妬深い性質を直すには「自信を持つ」ことが一番です。自信があれば他人のよい出来事を心から喜んであげられる。自信のある人がよい結果を次々出せるのは、嫉妬心から自由にいられるからと言っても過言ではありません。
